

プログラム

ベートーヴェン ヴァイオリン・ソナタ第3番 ト長調
ブラームス ヴァイオリン・ソナタ第2番 イ長調

<休憩>

パガニーニ ネル・コル・ピウによる主題と変奏曲
コルンゴールド 組曲「空騒ぎ」
マスネ タイスの瞑想曲
ワックスマン カルメン幻想曲

プロフィール



渡辺玲子（ヴァイオリン）

渡辺玲子は、超絶的なテクニック、玲瓏で知的な音楽性、切れ味鋭い官能性とそのレパートリーで、日本のみならず世界のヴァイオリン界をリードする逸材である。東京生まれ。3歳よりヴァイオリンを始め、松井宏中、鈴木共子、田中千香士、堀正文、大谷康子、海野義雄の各氏に師事。

第50回日本音楽コンクールにおいて最年少（15歳）で優勝。同時に第1回増沢賞（全部門を合わせて最も優れたものに与えられる賞）を受賞。その後、「若い芽のコンサート」でNHK交響楽団と共演して衝撃的なデビューを飾った。1985年からは、ニューヨークのジュリアード音楽院に全額奨学生として留学、ヴァイオリンをJ.フックス、室内楽をJ.ラタイナー、F.ガリミア、S.ローズの各氏に師事。1992年同音楽院を修了。1984年ヴィオッティ、1986年パガニーニ両国際コンクールで最高位を受賞。その後、ニューヨークを本拠地として世界各地でオーケストラとの共演、リサイタル、音楽祭への参加と国際舞台での活躍がめざましい。

これまでに国内の主なオーケストラはもとより、ロサンジェルス・